

わたしだ。恐れることはない。(20)

すると間もなく、舟は目指す地に着いた。(21)

ヨハネによる福音書 6章16～33節

「第一のものを第一に」



ステンドグラス「ノアの箱舟と教会の舟」(サンテティエンヌ・デュ・モン教会)

彼らは深い淵^{ふち}で主の御業^{みわざ}を

驚くべき御業を見た。

苦難の中から 主に助けを求めて叫ぶと

主は彼らを苦しみから導き出された。

主は嵐に働きかけて沈黙させられたので

波はおさまった。

彼らは 波が静まったので喜び祝い

望みの港に導かれて行った。

(詩編 107編 24、28～30節)

父：「人間ならではの、これぞ人間という最大の特長といたら？」

子：「自分はなんで、ここにこうしているんだろう？」

— ある親子の会話

なぜ生きるのかを知っている者は、ほとんどどんな生き方にも耐えられる。

— フリードリヒ・ニーチェ

フリードリヒ・ニーチェ

1844～1900年

ドイツの哲学者。

実存哲学の先駆者の一人で、新たな価値論を提示。

超人、永遠回帰等の思想で知られる。

ヴィクトール・E. フランクル

1905～1997年

オーストリアの精神医学者。

人間理解の本質を探り、実存分析を提唱。

『夜と霧：ドイツ強制収容所の体験記録』『人間とは何か』等の著作で有名。

繊細な性質の人間がしばしば、頑丈な^{しんたい}身体^{しんたい}の人間よりも
収容所生活をよりよく耐え得た。

— ヴィクトール・E. フランクル



エルコレ・デ・ロベルティ「マナを集めるイスラエルの民たち」

朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくならないで、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。これこそ、人の子があなたがたに与える食べ物である。(27)

はっきり言うておく。モーセが天からのパンをあなたがたに与えたのではなく、わたしの父が天からのまことのパンをお与えになる。神のパンは、天から降^{くだ}って来て、世に命を与えるものである。(32～33)

あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。(ルカ 10:41~42)

私たちは押し流されてしまいそうです！私たちは、・・・時間を追い求めて、常にあらゆるところを駆け巡っています。・・・心筋梗塞や躁うつ症が私たちの動きを止める日まで続くのです。・・・私たちに語りかける・・・神に聴くために少しの時間を割くことができれば。

皆さん、神は今日も、「生きなさい、食べなさい、働きなさい、戦いなさい、気晴らしをしなさい。それは必要であり、良いことです。・・・[しかし]たとえ数分でも、自分を静止させなさい。口を噤みなさい。あなたの神である私は、あなたに話したいと思っている。私はあなたに言いたいことがある」と語っておられるのです。

—フランスのカトリック司祭、ミシェル・クオスト

あなた方は、何のために歯を頂いているのか。何のために胃を頂いているのか。永遠のいのちに至る食べ物を食するためではないか。キリストを信じなさい。そうするとき、あなた方はすでにいのちを食している。

アウレリウス・アウグスティヌス

354~430年

古代キリスト教における西方教会最大の教父で、神学者、哲学者。

北アフリカ・ヒッポの司教。

『神の国』『告白』等、多くの著で知られる。

どれほど激しい嵐にみまわれようとも、どれほど舟が小さかろうとも、水が中に入らぬかぎり、舟は沈まない。

—信仰の格言



神がお遣わしになった者を信じること、それが神の業である。(29)